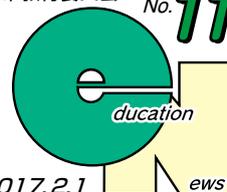


市教委だより

Kawagoe City Board of Education News

川越市教育委員会

No. 110



2017.2.1



- ◆日本語指導ボランティア派遣事業ほか 2
- ◆租税教室/むかしの勉強・むかしの遊び展 3
- ◆新入生の1年間 4~5
- ◆教育相談Q&A・給食で使用する自慢の川越産!! 6
- ◆子どもが参加できる各種講座/
子どもサポート発表会・「小江戸見つけ隊」全作品展示会 7
- ◆知っ得!文化財 8

川越氷川祭の山車行事(川越まつり)が ユネスコ無形文化遺産に登録決定

「川越氷川祭の山車行事」を含めた全国33件の「山・鉦・屋台行事」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。川越市では12月17日に記念イベントを開催、式典と山車曳きを行いました(表紙写真)。「知っ得!文化財」(8ページ)に関連記事を掲載しています。ぜひ、お読みください。

川越市マスコットキャラクター
ときも



フォトニュース



時の鐘耐震化工事が完了 ~ご協力ありがとうございました~

平成27年7月下旬から約18ヶ月かけて行われていた「時の鐘耐震化工事」が完了し、1月9日には関係者による完成記念式典にて、明治27年の再建当初の姿に復原された時の鐘がお披露目されました。平成28年3月から停止していた定刻の鐘つきも1月10日から再開しました。工期中は、ご協力いただきありがとうございました。



学校給食では、地場産物を積極的に取り入れています。

学校給食に関するパネル展示 ~川越市健康まつり~

12月11日、ウェスタ川越で川越市健康まつりが開催され、展示コーナーでは、「みんなの学校給食コーナー」と題し、学校給食の目標、献立内容の変遷、地場産物を使用した献立、地場産物のブロッコリーが種から成長して給食の献立になるまでの様子などをパネル展示しました。また、学校給食献立レシピの配布、菅間学校給食センターで野菜くずなどから作った肥料の配布も行いました。

日本語指導ボランティア派遣事業

日本語指導ボランティアは、帰国・外国人児童生徒に対して授業での理解を深めたり、学校生活上の不安を取り除いたりすることを目的に小中学校へ派遣されます。一人一人の実態に応じた教育活動を推進することができ、現在27校に29名を派遣しています。

派遣している小中学校の校長に活用状況を伺いました。

Q 日本語指導ボランティアに期待していることは何ですか。

A 日本語指導ボランティアが派遣されることにより、児童生徒一人一人に対するより細やかな指導を行えます。授業では、担任や授業者の指示を児童生徒の母国語や分かりやすい日本語で伝えることでその学習の理解が深まることとが期待できます。

Q 日本語指導ボランティアをどのように活用していますか。

A 授業では、該当児童生徒の様子を見守りながら、必要に応じて授業内容の補足や説明をしています。日本語の理解が十分でないため、教師の指示が分からず戸惑っている児童生徒には、その場での適切な支援を行うことが重要であると考えています。また、個別学習の形で支援を行う場合もあります。



Q 日本語指導ボランティアの派遣により、実際にどのような効果がありましたか。

A 小学校では、日本語指導ボランティアの丁寧な支援で、該当児童の日本語の読み書きの習熟、学習での理解が深まっていると感じています。

A 中学校では、該当生徒が高校受験や進路選択といった悩みを抱える場合があります。日本語指導ボランティアは学習での支援はもとより、良き相談相手となり、学校生活上の不安を和らげるなど生徒が安心して学校生活を送る上で欠かせない存在になっています。

日本語指導ボランティアさんに活動状況を伺いました。

Q 日本語指導ボランティアを始めたきっかけは何ですか。

A 子どもたちが好きで始めました。また、人の役に立つ仕事をしたいと思いました。

Q 日本語指導ボランティアでの活動で、感じていることはどんなことですか。

A 想像以上に子どもたちは言語、文化、習慣の違いで困っていると感じました。しかし、少しずつ自信をつけ、休み時間等で友達と楽しそうにしている姿を見たり、できることが増えてきたりすると、とてもうれしく思います。子どもたちの笑顔がこの仕事のやりがいです。

中札内村と川越市の中学生が交流 —中札内村中学生川越市訪問交流事業—

川越市では、友好都市である中札内村（北海道）の中学1年生を受け入れ、本市で社会学習やホームステイ等を体験してもらうことにより、市村民間の友好の絆を深めることを目的に、平成21年度から「中札内村中学生川越市訪問交流事業」を実施しています。

今年度は、1月8日～11日にかけて、9名の中学生が中札内村から本市を訪問、市内のご家庭にホームステイしたり、1月10日には寺尾中学校を訪問したり、初雁中学校生徒による案内で市内見学をしたりしました。寺尾中学校では、始業式に出席しました。始業式の後は、中札内村中学校生徒による村の紹介、寺尾中学校生徒による学校紹介、合唱やダンスなどの出し物、クラス対抗の玉入れが行われ、交流を深めることができました。



初雁中生徒による案内で市内見学 中札内村の生徒による村の紹介

アウトリーチによる参加体験型演奏会を 小学校9校で開催しました

川越市では、「川越市文化芸術スポーツ振興基金」を活用し、子どもたちの心の豊かさを育むため、「子どもの文化芸術体験事業—アウトリーチ」を実施しています。

アウトリーチとは、もともと「手を伸ばすこと」という意味の言葉ですが、ここでは、アーティストが「劇場」から「外」へ出ることで、劇場に足を運んだことのない人にも、芸術により親しみを持つように啓発する活動のことを「アウトリーチ」と呼んでいます。

今年度は、小学校9校で楽器・曲の説明などを交えた演奏会が開催され、参加した児童の皆さんは演奏にあわせて体を動かすなど、楽しんでいるようでした。



11月15日に福原小学校で開催されたクラリネットとアコーディオンによる演奏会